



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



今日は節分。明日は立春！次年度に向けて動き出す時期!!

－ Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) －

今日は「節分」。節分とは、季節を分けるという意味で、立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日を指しています。その中でも立春の前日の節分は冬から春にかわる一年の始まりとされており、新年の邪気を祓う行事が行われる重要な日でした。その為、節分というと立春の前日を示すようになったそうです。節分では、厄除けを願い「豆まき」を行うお家も多いかと思ひます。今日はお家の方で鬼になる人は、大変かもしれませんね。「豆まき」をした後は、豆を食べ無病息災を祈ります。ただ、今の歳の数より一つ多い数の豆を食べる、満年齢の数を食べる等、地域によって違いがあったりするのも面白いですね。また、恵方巻を楽しみにしている人も多いかと思ひます。今年の恵方は「南南東」だそうです。そちらに向かって願い事をしながら、恵方巻を無言で、丸かじりして食べると縁起がよいと言われています。節分は、ご家庭によって違いはあるかと思ひますが、ちょっと特別な、そして、楽しみな日です。節分が過ぎれば、明日は「立春（りっしゅん）」です。暦の上ではこの日より春になります。新茶の摘み取りが行われる「八十八夜（はちじゅうはちや）」や台風の襲来が多いとされる「二百十日（にひゃくとおか）」はこの立春を起点としています。正に、旧暦における一年の始まりであった訳です。ついでに言うと、この立春を過ぎ、最初に吹く南寄りの強い風を「春一番（はるいちばん）」と呼びます。季節は移ろい、春は確実にやってきています。

さて、昨日、6年生は旭丘中学校の一日入学に行きました。保護者の方には入学説明会、子供達にとっては、楽しみにしていた部活動体験がありました。出発前に「どの部活を見学するの？」と尋ねると、陸上部、野球部、

サッカー部、ボランティア部、美術部等、色々と教えてくれました。6年生の子供達にとっては、興味津々の一日となったに違いありません。保護者の皆様は中学校に入学する時、どのようなお気持ちだったのでしょうか。きっと、ワクワクする気持ちでいっぱいだったかと思ひます。そして、それと同じくらい不安や心配な気持ちを抱えられていたのではないのでしょうか。ご自身の中学校入学の状況と今の子供達の中学校入学の状況とは、時代の変遷を受け変わってきていることだかと思ひます。しかし、子供達にとっては、やはり期待と不安が入り混じるそんな状況に変わりはないかと思ひます。ごきょうだいがおられ、中学校の様子がお分かりになるご家庭もあるかもしれませんし、初めて中学校に入学されるお子様をお持ちのご家庭もあります。それぞれの状況、思いも違っておられるかもしれません。ちょっと前に小学校に入学したのに、もう、中学生・・・といったお気持ちもおありになるかもしれませんね。子供の成長の早さに驚かされている保護者の方もおられるのではないのでしょうか。令和4年度も残り2カ月となってまいりました。6年生にとっては、卒業という大きな大きな節目を迎えます。立派に中番小学校を巣立って欲しいと願っております。5年生にとっては、後を引き継ぐ者としての自覚と誇りが目覚める時期でもあります。4年生にとっては、その5年生を助け、自分自身も中番小学校の中核を担う存在になっていきます。以下の学年においても、一つ学年が上がるということにおいて新たな目標が生まれてきます。このように子供達にとって、今の時期は、次年度への大切な準備期間だかと思ひます。

新型コロナとインフルエンザの同時流行については、まだまだ心配な状況です。中番小学校は、日々の感染症対策を徹底し、「恐れず、正しく、適切に。」対応します。保護者の皆様の深いご理解とあたたかいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。3学期、元気で逞しい子供達の姿に期待しております。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。